

交野市教委ニュース

第90号 (平成30年2月21日発行)

今年度の取組みのまとめ、来年度に向けた取組み

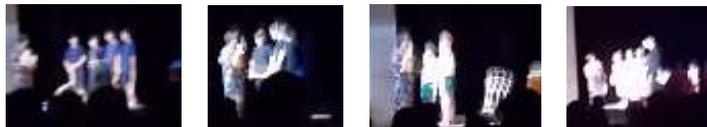
今回の市教委ニュースでは、今年度の小学校の取組みと、来年度に向けての新たな取組みのお知らせをします。

和太鼓

2月17日(土)、星の里いわふね和太鼓フェスタが開催されました。学校からは、有志として交野小学校の6年生、藤が尾小学校の1年生と6年生、私市小学校の和太鼓クラブが出演しました。



6年生にとっては、小学校最後の和太鼓の舞台だったのではないのでしょうか。仲間と一緒に練習した思い出やすばらしい発表の思い出を胸に、中学校でもさまざまな場面で活躍してくれることでしょうか。また、1年生にとっては緊張したかもしれませんが、この経験をこれからの学校生活に活かしてほしいです。クラブの皆さんは、地域の伝統をこれからも守って、すばらしい演奏を今後も聴かせてください。



演奏後のインタビューもみんなしっかり答えていました。最初から最後まですばらしい舞台でした。

英語弁論大会

平成30年8月1日に、交野市では初めての英語弁論大会を開催します。参加者は、市立小・中学校の児童・生徒と関西創価中学校の生徒を予定しています。2月17日には関西創価中学校で英語暗唱大会がありました。この取組みも参考にしながら、交野市らしい、小・中学生が参加できる弁論大会を開催したいと考えています。



審査員は、6人のネイティブの先生でした

関西創価中の暗唱大会をみて、暗唱といってもただ英語の文章を覚えるのではなく、その人になりきりどう思いを伝えるか、それが大切だということがよく分かりました。「弁論大会」は暗唱とは違った難しさがあると思います。交野の子ども達、もちろん関西創価中の生徒も含め、その困難さを乗り越え、大げさに聞こえるかもしれませんが、それをきっかけにグローバルに活躍する人材になって欲しいと考えています。

弁論大会の詳細や募集方法などは、新年度の4月になってから市立各小・中学校を通じてお知らせします。また、交野市では平成30年度から市立全中学校の生徒全員が英検IBAを受験する方向で準備をしています。英検IBAはいわば英検の簡易版です。英語の力を数値的また客観的に捉え、学校そして個人ともその後の学習に生かそうとするものです。